

まちづくり交付金 事後評価シート
武雄温泉駅周辺地区

平成21年11月

佐賀県武雄市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	佐賀県	市町村名	武雄市	地区名	武雄温泉駅周辺地区			面積	333ha						
交付期間	平成17年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	1,000百万円	国費率	0.4								
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名												
		基幹事業	道路(本町本道線) 中央生活基盤施設(中央公園、駐輪場) 高質空間形成施設(川端通りの憩いの遊歩道) 高次都市施設(観光交流センター) 土地区画整理事業(武雄北部)												
		提案事業	地域創造支援事業(サイン計画と表示板設置、郷土物展示エリア) まちづくり活動推進事業(観光資源とプログラム開発事業、広域の情報提供事業)												
	当初計画から削除した事業		事業名				削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		基幹事業	桜山散策道路				民間による既存建物活用部分について、活用策の結論が未だ出ない為、本事業からは削除した。		影響なし						
	提案事業	なし				—		—							
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(天神崎白岩線、平原梅林線、明神馬場線、一ノ坪4号線、竹下蓮葉線、下西山線、一ノ坪梶原線)				中心市街地の回遊性の向上や、アクセス道路の改善のために追加		影響なし						
提案事業		下水道整備、景観形成支援、事業効果分析、観光客誘致事業				下水道整備:中心市街地の環境衛生向上を目指し追加 景観形成支援:官民協働による景観形成を行う為追加 事業活用調査:事業効果の専門的な分析が必要な為追加 観光客誘致事業:新たな観光客誘致活動が必要と判断し追加		影響なし							
交付期間の変更	当初	平成17年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響											
	変更														
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期		
	指標1	観光客数	千人/年	1,268	H15	1,305	H21	—	1,199	△	あり	新たに整備された観光交流センターや遊歩道整備、観光プログラム開発は、観光客の増加に一定の成果があったと考えられる。しかし、全国的な不況等、社会状況の変化により、事業の効果が発現するタイミングが予想よりも遅れた為、目標を達成する事ができなかった。	H23.6		
											なし				
	指標2	歩行者等通行量(川端通り)	人/日	811	H16	1,000	H21	—	1,031	○	あり	川端通り沿いの遊歩道整備をはじめとする道路整備等により中心市街地全体の回遊性が向上した。さらに、交流センター等におけるPR活動や広報等により、川端どおりへの認識が増し、これに伴い歩行者交通量も増加した。	—		
											なし				
指標3	交通事故件数	件/年	24	H15	12	H21	—	11	○	あり	都市再生事業による高架側道の整備や、それに伴う踏み切り除去、暫定的な交差点改良、関連事業である鉄道の高架化事業が完了しており、交差点等におけるスムーズな交通が実現されつつある。これにより、当該道路における交通事故件数は減少した。	H23.6			
										なし					
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期		
	その他の数値指標1	武雄温泉物産館入込み客数	人/年	287,629	H16			—	550,864			観光交流センターや遊歩道整備の整備、土地区画整理事業により、新たな「武雄の顔」を整備した。また、武雄の魅力を外部へPRする為、テレビドラマ「佐賀のがばいちゃん」ロケを誘致し、ロケ終了後もボランティアによる観光客向けのロケ地案内活動を行うなど様々な事業をおこなった。これにより、当該事業地の魅力が向上し、武雄温泉物産館の入込み客数の増加につながった。	H23.6		
	その他の数値指標2	川端通り店舗数	店舗	32	H18			—	51			川端通り沿いの遊歩道整備をはじめとする道路整備等により、中心市街地全体の回遊性やにぎわいが向上し、これが川端通りの店舗数の増加に寄与した。さらに今後も、これらの連携により、にぎわいの向上につながる正のスパイラルが期待される。			
4)定性的な効果発現状況	川端どおり憩いの遊歩道整備に伴い、地元市民(商店主等)のまちづくりへの関心・意欲が向上した結果、商店会のボランティアにより平成20年・21年と「川端まつり」が開催され、幅広い年代の来訪者により、大変なにぎわいとなっている。同まつりは、今後も毎年開催される方針であり、武雄の新たな魅力として期待される。														
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—				
			住民参加プロセス	地域住民と行政で組織する「まちづくり研究会」を設立し、まちなみ形成に関する協定の締結に向けて情報共有や計画の内容・進捗状況についての会合を開催した。					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● これまでの検討内容や整備状況を踏まえ、会合を随時開催する。		
	持続的なまちづくり体制の構築	まちづくりに関する民間団体等を含めた「まちづくり研究会」を開催し、地域活性化のための研究を行っている。							都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 住民の直接的な意見を聞く場とし事業中だけでなく、今後も定期的に会合を開催し、持続的な組織への移行を図る。		

様式2-2 地区の概要

まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
新しい「武雄の顔づくり」による中心市街地の再生		観光客数	単位:千人/年	1,268	H15	1,305	H21	1,199	H21
目標1:温泉と歴史・文化等を融合し温泉観光保養都市として、「武雄の顔づくり」を進めて広域からの集客を図り、交流人口の拡大を図る。		歩行者等通行量(川端通り)	単位:人/日	811	H16	1,000	H21	1,031	H21
目標2:温泉や歴史的な地域資源を活かし、回遊性のある時間場能型のにぎわいと活力のある中心市街地の再生を目指す。		交通事故件数	単位:件/年	24	H15	12	H21	11	H21
目標3:中心市街地へのアクセス道路を改善し歩行者の安全性、快適性の向上を図る。									

凡 例

- 基幹事業 (Yellow)
- 提案事業 (Blue)
- 関連事業 (Dashed line)

基幹事業

- 高次都市施設(観光交流センター)
- 地域生活基盤施設(郷土物産展示エリア)
- 地域生活基盤施設(駐輪場)
- 武雄北部都市再生土地区画整理事業(一般会計)
- 武雄北部土地区画整理事業(特別会計)
- 高質空間形成施設(川端通りの憩いの遊歩道整備)
- 照明灯設置及び維持管理
- 地域生活基盤施設(中央公園)
- 道路(本町本堂線(長崎街道)、平原梅林線、天神崎白岩線、一ノ坪4号線、明神馬場線、竹下蓮葉線、下西山線、一ノ坪堤原線)
- 街路整備事業(内町・迎田線)

提案事業

- まちづくり活動推進事業(観光資源とプログラム開発事業)
- まちづくり活動推進事業(広域の情報提供事業)
- 地域創造支援事業(サイン計画と表示板設置)
- 地域創造支援事業(下水道整備)
- 地域創造支援事業(景観形成支援事業)
- まちづくり活動推進事業(観光客誘致事業)
- 事業活用調査(事業効果分析)

関連事業

- JR佐世保線武雄温泉駅付近連続立体交差

写真

- 観光交流センター
- 武雄温泉通り
- 武雄温泉駅南口
- 川端通り
- 中央公園
- 長崎街道